

そう だい
総 題 「エフェソの信徒への手紙」

だいじゅうよん か
第 1 4 課 エフェソの信徒への手紙の 中 心

きた むつ お
北 睦夫

いち あんそくにち ご
1. 安息日午後

エフェソの信徒への手紙は、たったの6 章 という 短い手紙ですが、パウロがあなたにもっとも伝えたい「あ
りがたい真理」が、まとめられています。

に にちようび しゆくふく
2. 日曜日：キリストにおいて 祝 福され

第1 章の「ありがたい真理」とは、あなたはキリストにおいて、救われるために選ばれたということです。その
救いによって聖霊が与えられ、神様がわたしたちに与えて下さった恵み、またこれからも与えて下さる恵みが、
どれほど素晴らしいものであるかを理解し、その恵みにあずかるようにして下さる、ということです。

さん げつようび ち いきしやかい あがな
3. 月曜日：地域社会のために 贖われ

第2 章の「ありがたい真理」とは、罪によって死んでいた私たちは、キリストの十字架のあがないを信じる
ことによって新しい命をいただきました、ということです。それは、キリストと一つとなって、キリストの復活、
昇天、天の王座にあずかるだけでなく、この地にあって、キリストと共に、その恵みによって、神の素晴らしいお
働きをするようになる、ということです。

よん かようび い かみ きょうかい
4. 火曜日：生ける神の教会として

第3 章の「ありがたい真理」とは、教会は、「神の家族」であるということです。わたしたちが、恵みによっ
て、神の家族として一つとなっていくならば、神様は、私たち神の家族を通して、この地で、素晴らしいお働
きをなして下さいます。

ご すいようび しんこう いっち
5. 水曜日：信仰による一致

第4 章の「ありがたい真理」とは、教会は一つの体ということです。体の部分で、必要でないものはあり
ません。わたしたちは、それぞれの部分で役割をもっています。指は、指の働き、口は口の働きです。お互い
に尊重し合い、優しく思いやりを持っていきたいと思ひます。

ろく もくようび めぐ う あた もの 6. 木曜日：恵みを受け、与える者として

だいごしょう 「ありがたい真理」は、めぐ しん り めぐ しん もと もの あた めぐ
第5章の「ありがたい真理」は、恵みは、信じ、求める者に、ただ与えられるということです。恵みとは、ふ
さわしくないものにあたえられる 祝福のことです。わたしたちは、みな罪人であり、恵みを受けるにふさわしくない
もの者でした。しかし、かみさま しん り によつて、わたしたちイエスキリストの じゅうじか 十字架のあがないを信じ受け入れ
る者には、ただ めぐみ をくださるのです。このめぐみをいただくことによって、わたしたちは、けがれからきよめられ、しん う い
のことしてふさわしい ひかり の子に変えられ、ひび せいちよう 日々、成長していくことができます。そして、そのめぐみは、あなた
からあふれ、あい のかおりとなって、た ひと わ あた 他の人へ分け与えることができます。

なな きんようび けんきゅう 7. 金曜日：さらなる研究

だいごしょう 「ありがたい真理」は、わたしたちは、かみ へいし しん り きょうかい かみ ぐんたい
第6章の「ありがたい真理」は、わたしたちは、神の兵士であり、教会は、神の軍隊である、ということ
す。くんれん へいし 兵士はいません。ひと どうそつ ぐんたい 一つに統率されていない軍隊は、ありません。わたしたちは各自、かくじ しゅ めぐ
をいただきながら自分自身をせいちょう 成長させていきます。また、きょうかい たが つか あい 教会では、お互いに仕え、愛をそだてあふれさせ、まわ
りの方々に愛を分け与えていきたいものです。